

第5号様式（用紙 日本工業規格A4 縦型）

（第1面）

認定申請建築物の現況調査書

年 月 日

浜松市長 様

報告者の住所又は
主たる事務所の所在地

報告者の氏名又は名称

電話番号

建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく認定申請に係る建築物について、現況を調査しましたので報告します。なお、この書類に記載の事項は事実と相違ありません。

調査者	資格	() 級建築士 () 登録 第 号
	耐震診断資格者を証する修了番号等	
	氏名	
	建築士事務所名 登録番号	() 級建築士事務所 () 知事登録 第 号
	所在地	
	連絡先	
建物概要	名称	
	地名地番	
	階数	地上 階 地下 階
	延べ面積	m ²
	構造方法	造一部 造
	用途	
既存不適格事項	条項	具体的内容
違反確認	<input type="checkbox"/>	・当該建築物は、建築基準法（昭和25年法第201号）その他関係法令の違反はないことを確認しました。 ・当該建築物について、次の違反事項を確認しました。 (具体事項)
	確認した場合にチェックしてください。	

(第2面)

建築物の履歴 (※1)	棟名称 (工事時期)	具体的内容
	(年 月 日着工)	・工事種別/面積 新築 / m ² ・確認番号 ・確認年月日 ・中間検査合格年月日 ・完了検査合格年月日
	(年 月 日着工)	・工事種別/面積 / m ² ・確認番号 ・確認年月日 ・中間検査合格年月日 ・完了検査合格年月日
	(年 月 日着工)	・工事種別/面積 / m ² ・確認番号 ・確認年月日 ・中間検査合格年月日 ・完了検査合格年月日
	(年 月 日着工)	・工事種別/面積 / m ² ・確認番号 ・確認年月日 ・中間検査合格年月日 ・完了検査合格年月日

※1：欄が不足する場合は別紙等適宜追加してください。また、別紙にて報告することも可能です。

(第3面)

耐震性の確認方法		<input type="checkbox"/> 耐震診断を実施 <input type="checkbox"/> 耐震改修を実施 <input type="checkbox"/> 新耐震基準に適合
耐震診断者	資格	() 級建築士 () 登録 第 号
	耐震診断資格者を証する 修了番号等	
	氏名	
	建築士事務所名 登録番号	() 級建築士事務所 () 知事登録 第 号
	所在地	
	連絡先	
耐震改修計画者	資格	() 級建築士 () 登録 第 号
	耐震診断資格者を証する 修了番号等	
	氏名	
	建築士事務所名 登録番号	() 級建築士事務所 () 知事登録 第 号
	所在地	
	連絡先	
耐震診断等の 状況	耐震診断実施状況	耐震診断実施日： 年 月 日
	耐震診断判定の有無	<input type="checkbox"/> 評価あり (評価機関：) (評価書発行日：) <input type="checkbox"/> 評価なし
	耐震改修計画判定の有無	<input type="checkbox"/> 評価あり (評価機関：) (評価書発行日：) <input type="checkbox"/> 評価なし
	耐震改修工事 施工完了日	年 月 日

(第4面)

建築物の劣化等状況確認

	確認事項	摘要 (※2)	調査結果
共通	敷地の安全の確認(がけ・液状化等)		
	地盤の状況(亀裂、傾斜等)		
	擁壁の基準の確認(損傷、変形等)		
木造	構造耐力上必要な軸組等の状況		
	土台および基礎		
	外壁・内壁等の状況		
鉄骨造	基礎		
	構造耐力上必要な軸組等の状況		
	柱脚		
	接合部・継手		
RC造	構造耐力上必要な躯体等の状況		
	柱・梁・耐震壁の配筋		
SRC造	RC造の規定		
	鉄骨造の規定		
その他	構造耐力上主要な部分の防錆、防腐 および防蟻措置および状況		

※2 該当する項目の摘要欄をチェックし、耐震性に問題があるかどうか、劣化状況の調査結果を記載してください。合わせて、項目ごとの状況がわかる写真を添付してください。

* 記載欄が不足する場合は、適宜別紙を添付してください。

建築物の改修工事の有無の確認

既往工事の有無	調査結果
<input type="checkbox"/> 改修工事なし	
<input type="checkbox"/> 改修工事あり	

※3 新耐震基準に適合する新築・増改築の完了検査後もしくは当該建築物の耐震診断後または耐震改修工事後に行った構造に係る部分の改修工事(確認申請が不要な規模の増築および模様替え等の工事に限る)の有無について記載してください。
改修工事がある場合は、その内容を具体的に記載してください。

第5面の添付要件確認書

*対象建築物の調査結果に基づき、パターン1～13に該当する項目にチェックを入れてください。

*該当する項目が第5面の添付が必要な対象建築物は、第5面および追加図書の添付が必要です。

パターン	耐震性の確認方法		完了検査済証の発行	中間検査済証の発行	既往改修工事の有無(注①)	第5面の添付	第5面追加図書
1 <input type="checkbox"/>	耐震診断		—		×	×	
2 <input type="checkbox"/>			—		○	○	・耐震診断の再検討資料
3 <input type="checkbox"/>	耐震改修		○ (注②)		×	×	
4 <input type="checkbox"/>			—		×	○	※耐震改修工事の内容についての調査に限る。
5 <input type="checkbox"/>			—		○	○	・耐震改修工事の内容についての調査 ・耐震改修計画の再検討資料
6 <input type="checkbox"/>	新耐震基準に適合	(建築基準法)第6条1～3号該当	○	—	×	×	
7 <input type="checkbox"/>		○	—	○	○	・構造に係る部分に関する既往改修工事の調査 ・構造再検討資料	
8 <input type="checkbox"/>		×				○	
9 <input type="checkbox"/>		(建築基準法)第6条4号該当	○	○ (注③)	×	×	
10 <input type="checkbox"/>		○	○ (注③)	○	○	○	※構造に係る部分に関する既往改修工事の調査に限る ・構造再検討資料
11 <input type="checkbox"/>		○	—	—	—	○	(建築基準法の完了検査が特例扱いのため必要)
12 <input type="checkbox"/>		○	—	○	○	○	・構造再検討資料
13 <input type="checkbox"/>		×				○	

注①：既往改修工事とは、新耐震基準に適合する新築・増改築の完了検査後もしくは当該建築物の耐震診断後または耐震改修工事後に行った構造に係る部分の改修工事（確認申請が不要な規模の増築および模様替え等の工事に限る）を言う。

注②：耐震改修に伴う工事が、建築確認申請が必要となる工事の場合に限ります。

注③：中間検査の対象でない一戸建ての住宅で全部記載事項証明（建物の登記簿謄本）等により住宅金融公庫の使用が確認できるものについては検査済証の発行があるものとみなします。

(第5面)

建築物の施工状況確認

	確認事項	摘要 (※4)	適否 (※5)	添付書類等
共通	敷地の安全の確認 (がけ・液状化等)			※写真
	地盤の状況 (亀裂、傾斜等)			地盤調査報告書
	擁壁の基準の確認 (損傷、変形等)			※写真
	基礎の形状・寸法・配置			写真 (形状、配筋等)
	構造部材の劣化			※写真 (柱脚、土台、ひび割れ等)
木造	部材の形状・寸法・配置			写真
	土台および基礎			写真 (アンカーボルト、土台等)
	柱の小径			写真
	構造耐力上必要な軸組等の状況			図面 ※写真 (注①) (柱、筋交い、横架材、小屋組、火打ち等)
	継手または仕口			※写真 (各階の接合金物) (注②)
	外壁内部等の防腐措置			写真
	耐震改修工事の補強に用いた軸組等			※施工計画図面、写真 (補強箇所、材料、種類、品質、形状、寸法、接合状況等)
鉄骨造	部材の形状・寸法・配置			※写真 (柱、梁、ブレース等) (注①③)
	材質・強度			
	柱脚			写真、溶接調査結果資料、(溶接調査、BPL、アンカーボルト等の材質・形状調査)
	接合部・継手			※写真、溶接調査結果資料 (溶接調査、ボルト・ダイアフラム・溶接プレートの材質・形状調査) (注①③)
	耐震改修工事の補強に用いたブレース等			※施工計画図面、写真 (補強箇所、材料、種類、品質、形状、寸法、接合状況等)
RC造	部材の形状・寸法・配置			※写真 (柱・梁・耐震壁等) (注①)
	コンクリート強度			強度試験結果 (コンクリートコアは各階採取)
	柱・梁・耐震壁の配筋			写真、調査結果資料 (各階の柱・梁・耐震壁それぞれの配筋、かぶり厚調査等)
	耐震改修工事の補強に用いたブレース等			※施工計画図面、写真 (補強箇所、材料、種類、品質、形状、寸法、接合状況等)
SRC造	部材の形状・寸法・配置			写真
	鉄骨造の規定			
	RC造の規定			
	耐震改修工事の補強に用いたブレース等			※施工計画図面、写真 (補強箇所、材料、種類、品質、形状、寸法、接合状況等)
その他	構造耐力上主要な部分の改修工事の有無			※構造検討資料

※4：該当する項目の摘要欄をチェックし、施工状況の確認を行ってください。合わせて、項目ごとの内容がわかる写真、検査結果等の資料を添付してください。

※5：適否判定欄は、調査結果が次に掲げる区分に該当する内容に応じて記入してください。

「◎」：現行の建築基準法の耐震関係規定を満たす

「○」：新耐震基準（昭和56年6月1日以降の建築基準法における耐震関係規定）、平成18年国土交通省告示第184号または同告示ただし書規定の方法に適合

「×」：現行の建築基準法の耐震関係規定および新耐震基準ともに満たさない、耐震改修計画通りの施工になっていない。

* 建築基準法第6条第1項第4号建築物の添付図書は、「※」マークがついている項目とします。

* 注①：建築基準法第6条第1項第4号建築物にあつては、各階数か所でも可。

* 注②：建築基準法第6条第1項第4号建築物にあつては、平成12年6月1日以降に建築されたもののみ適用し、撮影箇所は各階数か所程度。ただし、中間検査の対象建築物で中間検査合格証の発行されていないものは原則全数とします。

* 注③：ブレース構造は柱・梁・ブレースの写真、ラーメン構造は柱・梁・柱梁接合部の写真を添付してください。

(第6面)

耐震診断結果・改修計画表

建築物の名称								
竣工年月日	昭和 年 月 日							
延べ面積・階数	m ² 地上 階 / 地下 階 / 塔屋 階							
耐震診断の方法								
判定値	I _{S0}				C _T ・S _D (q)			
I _S (I _w) 指標値、C _T ・S _D (q) 値	経年指標 T =							
	階	方向	E ₀	S _D	I _S (I _w)	C _T ・S _D (q)	判定	
		X						
		Y						
		X						
		Y						
		X						
		Y						
		X						
		Y						
		X						
		Y						
	(最小値)							
	診断次数							

- * 耐震改修工事を行った場合は、耐震改修計画における改修後の耐震診断結果について記載してください。
- * 別に添付する図書等をもって確認できる場合は、作成することを要しません。
- * 建築物の部分が複数ある場合は、建築物の部分ごとに一枚作成してください。